

報告案件（１）香嵐溪渋滞対策における令和５年度の状況報告及び令和６年度の取組について

1 渋滞対策実施の経緯及び渋滞発生についての考察

(1) 渋滞対策実施の経緯

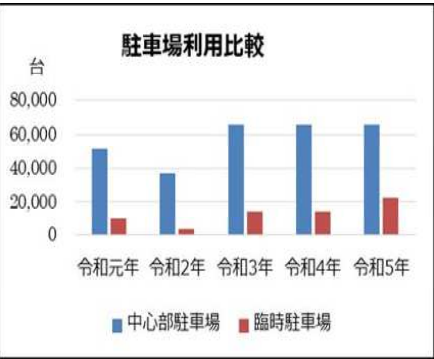
例年、香嵐溪もみじまつりを開催する１１月の香嵐溪周辺の足助地区において、主に観光目的で来訪する一般車両により、慢性的な交通渋滞が発生している。それに伴い、渋滞箇所を経路として運行しているおいでんバス（さなげ・足助線、稲武・足助線、旭・足助線）乗務員の拘束時間の長時間化と、利用者の定時性・利便性の確保が問題となっている。これまで、おいでんバスの運用の変更や香嵐溪もみじまつり関係先との調整を通じて、渋滞対策を実施している。

(2) 渋滞及びおいでんバス遅延発生についての現状分析

- ・香嵐溪来訪者の８５％が自家用車で国道１５３号を利用して香嵐溪へ訪れている（ETC2.0データ(R2.11) 国土交通省 TDM 施策から）。
- ・国道１５３号を利用して香嵐溪へ向かう観光客の車が集中することや、香嵐溪中心部の駐車場（宮町駐車場・足助支所駐車場）に集中的に流入することにより、慢性的な駐車場不足を招いて渋滞を誘発している。

(3) 問題点

- ・国道１５３号以外の行き方として迂回路があるにも関わらず、認知度が低いことや案内が不足していることが原因で、大半の観光客が国道１５３号を通して香嵐溪へ向かってくる。
- ・香嵐溪周辺の臨時駐車場が空いているにも関わらず、国道１５３号からすぐ近くにある香嵐溪中心部の駐車場へ観光客が過集中してしまうことで、渋滞が発生してしまう。
- ・慢性的な渋滞が発生してしまう国道１５３号並びにその周辺道路（国道４２０号・県道７７号・県道３６６号・県道３３号）を、おいでんバス「さなげ・足助線」「稲武・足助線」「旭・足助線」は運行経路として運行しているため、遅延が発生してしまう。



2 令和５年度に実施した渋滞対策

(1) 取組の方針

- ・乗務員の拘束時間の長時間化の防止及び利用者の定時性・利便性の確保。
→期間限定システムを用いて運行経路上の交通渋滞を回避する。
- ・香嵐溪中心部の駐車場を起点として発生する渋滞の緩和。
→予約型駐車場の導入・案内看板の設置・広報活動の強化を通じて、迂回路及び香嵐溪中心部以外の臨時駐車場へ引き込み、香嵐溪中心部以外の駐車場の稼働率を上げる。

(2) 新たな取組

① 迂回路への効果的な誘導（予約駐車場の試験運用）

タイムズ 24 の予約システムを利用し、迂回路からのアクセスが良い足助グラウンド（臨時駐車場）を予約駐車場とし、迂回路経由で足助グラウンドへの引き込みを実施。
→タイムズ 24 予約システム：11/10(金)～11/26(日)の期間で運用（※ピーク時 18 日（土）、19 日（日）、23 日（木祝）、25 日（土）、26 日（日）は除く）。

② 臨時駐車場への積極的な誘導（案内看板の新設）

臨時駐車場の入庫率向上を図るため、臨時駐車場案内看板の新設と投光器の常時点灯を実施。
→臨時駐車場としてこれまでも利用していたが、入庫率が低いことが課題としてあったため、看板に公式の文言と看板に照明をつけて、夜間の視認性の向上を図った。案内看板は、足助高校や香嵐溪多目的広場等の臨時駐車場に設置し、道中にも臨時駐車場への駐車を促す誘導看板を設置した。



① タイムズ予約型駐車場を活用した迂回路への誘導

② 臨時駐車場への案内看板設置

(3) 従来からの取組

- ・とよたおいでんバス 3 路線「さなげ・足助線」「稲武・足助線」「旭・足助線」について、11 月の 2 週目以降の土日祝の昼以降の便において、激しく渋滞することが予測される区間を回避する形に変更して運行（令和４年度から継続実施）。
- ・追従便等の柔軟な対応による乗せこぼし防止。
- ・11 月 2 週目以降の土日祝における待機列の整理
- ・Google マップの目的地検索に、迂回路での来訪を促す文言をアラートとして設定。
- ・駐車場の出入口付近における帰り道案内チラシの配布。
- ・足助観光協会の HP や SNS、チラシ等を通じた渋滞案内の発信。

3 令和５年度の状況報告

(1) 香嵐溪もみじまつりの来場者数について

R1	R3	R4	R5
4 3 万人	4 8 万人	5 2 万人	5 5 万人

(2) 香嵐溪周辺における渋滞最長距離について

R1	R3	R4	R5
10.0 km (11/23(土・祝))	9.4 km (11/21 (日))	12 km (11/19(土))	5 km (11/19 (日))

(3) 香嵐渓周辺の駐車場稼働台数について

	R1	R3	R4	R5
常設駐車場（中心部）	51,613 台	65,943 台	65,744 台	65,881 台
臨時・特別・予約駐車場	9,613 台	14,297 台	14,058 台	22,097 台
合計台数	61,226 台	80,240 台	79,802 台	87,978 台

臨時：香嵐渓もみじまつり開催期間である11月の1ヶ月間解放される駐車場

特別：土日祝の繁忙期のみ解放される駐車場

予約：R5 から新規導入したタイムズの予約型駐車場

(4) 香嵐渓周辺を運行するとよたおいでんバスの利用状況について

11月全体（11月1日～11月30日）の総利用者数（短縮ダイヤ運行時間帯以外も含む）

路線名	R1	R3	R4	R5
さなげ・足助線	23,311 人	23,978 人	24,675 人	29,936 人
稲武・足助線	3,242 人	3,153 人	2,966 人	2,849 人
旭・足助線	981 人	705 人	730 人	1,000 人

(5) 香嵐渓周辺を運行するとよたおいでんバスの運行状況について

① 香嵐渓へ向かう便の平均遅延時間（）内最大遅延時間

路線名	R1	R4	R5
さなげ・足助線（下り）	32 分（180 分）	42 分（120 分）	23 分（110 分）
稲武・足助線（上り）	8 分（70 分）	10 分（70 分）	6 分（47 分）
旭・足助線（上り）	15 分（240 分）	4 分（47 分）	2 分（13 分）

※行きで最も混雑が予想される 16：30 に近い便で計算
（香嵐渓のライトアップがスタートする 17 時台に香嵐渓に到着する便）

② 香嵐渓から帰る便の平均遅延時間（）内最大遅延時間

路線名	R1	R4	R5
さなげ・足助線（上り）	15 分（180 分）	18 分（215 分）	12 分（80 分）
稲武・足助線（下り）	15 分（70 分）	8 分（30 分）	3 分（20 分）
旭・足助線（下り）	30 分（200 分）	10 分（50 分）	8 分（50 分）

※帰りで最も混雑が予想される 19：00 に近い便で計算
（香嵐渓のライトアップは日没～21：00 まで）

(6) 令和5年度の取組の効果検証・考察

- 迂回路及び香嵐渓中心部以外の臨時駐車場への引き込みは、渋滞及び遅延の解消に一定の効果あり。

→過去の数値と比較して、令和5年度の来場者数と駐車場稼働台数は最も多かったが、渋滞長及びおいでんバスの遅延時間は、令和5年度が最も少なかった。継続実施することで、迂回路と臨時駐車場がより観光客へ浸透し、渋滞及び遅延の解消に寄与すると考えられる。

4 令和6年度取組及び検討内容について

(1) 取組の方針

- 乗務員の拘束時間の長時間化の防止及び利用者の定時性・利便性の確保。
→従来の期間限定系統にプラスして、新たに渋滞回避を目的とした期間限定系統を導入する。
- 香嵐渓中心部の駐車場を起点として発生する渋滞の緩和。
→予約型駐車場のサービス拡充及び駐車場運用の効率化に取り組む。
- 運行事業者との改善策の検討及び香嵐渓もみじまつりの関係者との連携。
→運行事業者から出た規制や運用についての意見や改善案を、実際の運営の中に落とし込めないか、香嵐渓もみじまつりの関係者と協議及び調整を行う。

(2) 新たな取組（案）

① おいでんバス3路線「さなげ・足助線」「稲武・足助線」「旭・足助線」の運用を追加変更
令和4年度から実施している11月の第2土曜日以降の土日祝における、渋滞回避を目的とした期間限定系統の運行に加えて、一部区間の運休を伴う期間限定系統を新たに追加する。
→詳細については、協議案件（1-1）、（1-2）、（1-3）に記載。

② 予約型駐車場のサービス拡充及び駐車場運用のさらなる効率化

予約型駐車場において、精算等の手続き効率化及び駐車場に割く人員削減に向けて、カメラでナンバーを認識して精算を行うカメラ式駐車場システムを新たに導入。また、1日1回転だった予約型駐車場の運用を、1日2回転に変更することで利用率向上を目指す。

(3) 各関係先との調整及び検討内容

- 通行規制等について、足助警察署へ打診（駐車場出入庫に係る左折制限・一般車両の通行制限）。
- 広報を例年より1ヶ月ほど早めた9月頃からの実施について、足助観光協会と調整。
- 混雑が予想される箇所（信号のない交差点・国道と県道がY字で合流する地点・出入庫の頻度が高い駐車場）における交通誘導員の配置について、足助支所並びに三州足助公社と検討。